
私は、今を、生きていきたい

Mathematics

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私は、今を、生きていきたい

【Nコード】

N40930

【作者名】

Mathematics

【あらすじ】

ある少女の物語。

・グダグダになってます。すみません。

（前書き）

まあ、妄想を具現化してみたのですが・・・

「あなたはどこまでもついて来る。苦しいよ・・・」

繰り返されるあの悲劇。3ヶ月前、わたしの彼氏は自殺した。その情景が、何度も、何度も繰り返される。

地下鉄が自分の降りる駅につきそうだ。私は目を開けた。

しかし、その駅は2駅後だった。しかたなく2駅戻り、改札を通った。

地上に出ると、冷たい風が吹いてきて、寒さに振るえた。まあ、なんと云っても、

今は12月、気温は天気予報では確かー7 なのだから、無理はない。

家に帰りながら思う。自殺はしない、と。

彼が自殺したとき、「君には分からないよね」と言われた。

でも、私達はお互いの事を、まだよく知らなかったのだ。

彼の葬儀の後に分かった、彼がDVを受けていた事を。

学校でもいじめられていたらしい。

私は知らなかったのだ。

私は助けられなかったのだ、彼を。

後を追おうと思った。でも、彼の遺書によって、縛られている。

「君はー幸せになって欲しい。」

この言葉がなかったら、私は自殺していただろう。

この言葉に救われ、縛られた。

「僕がいじめられているのは、見せたくないかった。

君の前では、いつも笑っていたかったー」

辛いなら、そう言っただけよかった。

何か、何か出来たはずなのに・・・

家に着いた。

家に入ったものの、何かがおかしい。

危険だ、と本能が告げている気がする。

ていうより、血がぼたぼた寝室から居間へ続いている。

一応居間に行く。勿論警戒していたけれど、後ろから刺された。

鋭い痛みと、傷口が燃えるような感覚。

「あんたの、あんたのせいで!!」

幸い、刺されたのは肩口のように、まだ大丈夫だ。

「私から、秀彦（彼の父）を奪ったのは、あなたのせいなのよ。

私は、あんたを殺して、私もあとを追うわ!」

何これ、バカみたい。

こんなこと、ないじゃん、と思うけれども・・・

逃げないと。

彼の分も、しっかり生きたい。

窓から逃げようとした。

なんとか家からは出たけれども、今、わき腹に刺されてしまった。
もうダメかも・・・

ごめんねごめんねごめんねごめんねごめんねごめんね
ごめんねごめんねごめんねごめんねごめんねごめんね
ごめんねごめんねごめんねごめんねごめんね・・・

私は、病室で目を覚ました。

結構やばかったらしい。

彼に助けられたと思う。そんな気がする。

父も母に殺され、母は自殺。

私しかいなくなった。

でも、私は、生きたい。
それを、彼が望むなら。

彼の分まで、生きて行こう。

テーブルには、彼の好きだった、みかんがあった。

（後書き）

文章力がない私ですが、御指導とポイントをお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4093o/>

私は、今を、生きていきたい

2010年10月20日02時47分発行